

研修会・講習会を少しでも近くへ —県内サテライト会場での実現に向けて—

一般社団法人千葉県病院薬剤師会会長
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
東千葉メディカルセンター薬剤部長
仲佐 啓詳 Hiromitsu NAKASA



平成30年4月より一般社団法人千葉県病院薬剤師会（以下、千葉県病薬）の会長に就任致しました仲佐啓詳です。千葉県病薬の現状と取り組みの一端をご紹介させていただければと思います。

千葉県は、東と南は太平洋、西は東京湾と江戸川（以西一部あり）、北は利根川（以北一部あり）と四方を水に囲まれ、その大半は房総半島になります。東京近郊の人口密集地、太平洋沿岸および半島部分の人口減少過疎地に大別され、9つの二次医療圏に分かれています。千葉県病薬は、二次医療圏と施設数を考慮し7つの支部で構成し、会員施設は270を超え、2,200人以上の会員数となっています。しかし、東京近郊域（千葉県北西部、エリアは千葉県の約1/4、4つの支部）に、会員施設および会員の約3/4が集中しています。それ以外の太平洋沿岸および半島部分（エリアは千葉県の約3/4、3つの支部）に残りの1/4の施設および会員が点在している状況で、非常に偏在が激しくなっています。このようななか、7つの支部はそれぞれに研修会・講習会を企画運営し、会員への研修の場を提供しています。また、千葉県病薬として8つの委員会を設け、それぞれの目的に即した企画を立案し研修会やイベントを全県的に開催しています。平成29年度は、日本病院薬剤師会（以下、日病薬）病院薬学認定薬剤師制度の認定講習会が150回実施され、委員会での企画が31回、支部での企画が119回でした。これらは各委員会や各支部が、会員に有益な情報を提供したいとの思いから、今求められていること、今必要なこと、さらには今後必要となってくるであろうことなどを企画として立案し、研修会や講習会として提供してくれています。しかし、会員においては時として参加希望の研修会・講習会に参加できないことも生じるでしょう。特に、地域によっては会場までの距離やアクセスの点が障害となります。

そこで、研修会・講習会を開催会場まで行かず視聴できないか、開催日時以外でも視聴できないか。ITが進歩している現在、資金、人を投入すれば実現できるのでしょうか。しかし、私たち千葉県病薬には、その余裕はありません。ただ手をこまねいているだけではなく、私たちのできることを少しでも実現して改善していきたいと考えています。

昨中央支部の研修会を、Webを介してサテライト会場4カ所に通信し、遠隔地にて同時視聴を試みました。これは共催メーカーの社員PC同士での会議システムを使用させていただくことで実現しました。同時に複数カ所で視聴することが、会議システムソフト、PC、Wi-Fi等で可能であることが確認できましたが、この運用を千葉県病薬独自で行えるかどうかはまだ確認がありません。なお、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位として、収録したものを視聴することでは認められませんが、遠隔地でもLiveで視聴し、質疑に参加する形であれば認められると聞いています。そこで、今年度は“サテライト講習会実現プロジェクトチーム”を立ち上げ、実現に向けて、経費や問題点を検討することと致しました。

すでにサテライト会場での講習会を実施している病薬もあると聞いています。ご助言をいただきながら千葉県病薬でも進めていければと考えています。ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。